



スキーでジュニアオリンピックに出場 栗山中学校3年の古野紗奈さん

栗山中学校3年の古野紗奈さんが、道内の各種大会での成績による総合順位が8位になったことから、ジュニアオリンピックカップ2021全日本ジュニアスキー選手権大会への出場を決めました。古野さんは3月16日、報告のため佐々木学町長を訪問。「大回転とスラロームで優勝して、最終日のパラレルスラロームまで進みたい」と意気込みを話していました。



カルタで楽しむ絵本の世界 図書館絵本カルタ大会

町図書館で3月14日、絵本カルタ大会が行われました。絵本に関心を持ってもらおうと企画されたもので、カルタと同じく、読み手が絵本に関する言葉を読むと、参加者は耳を澄ませ、床に広げられた30冊の絵本の中から元気よく取っていました。また、図書館司書おすすめの絵本「やもじろうとはりきち」の読み聞かせも行われ、参加者は絵本の世界を楽しみました。



整備方針案を町長に提出 栗山町病院整備方針策定委員会

栗山町病院整備方針策定委員会が3月9日、整備方針案を決定し、佐々木学町長に提出しました。佐々木学町長は「提出いただいた整備方針案をもとに、町民が安全安心な医療環境の中で暮らせるよう、一層努力していきます」とあいさつ。同委員会は令和2年12月に設置され、計5回にわたり、栗山赤十字病院の改築整備に向けた議論を重ねてきました。



金融リテラシーで確かな人生設計を 町民講座「社会人のライフプラン」

町民講座「社会人のライフプラン～金融リテラシーを身につける～」が3月1日、北海道介護福祉学校で行われました。同校2年生の授業の一環として実施され、町民も含め約30人が参加。くりやまライフサポーター事業応援ファイナンシャル・プランナーの星洋子さんが、経済的に自立するために必要なスキル「金融リテラシー」を身につける方法などについて講演しました。



青年農業賞を受賞 共和の斉藤隆浩さん

令和2年度の栗山町青年農業賞および勝部徳太郎夫婦賞の表彰式が3月19日に行われ、共和の斉藤隆浩さん、絵梨さん夫妻が受賞しました。斉藤さんは平成13年に後継者として就農。現在は40ヘクタールの農地で、小麦や玉ねぎなどの農産物を生産しているほか、約200頭の羊を飼育し「クリムのジンギスカン」の製造販売など、さまざまな事業を手掛けています。



日本の伝統を子どもたちに MOAインターナショナル栗山が 地域文化貢献賞を受賞

活け花と茶道のサークル「MOAインターナショナル栗山」が、公益財団法人空知しんきん産業文化振興基金より地域文化貢献賞を受賞し、3月16日、伊達桃代会長が南條宏教育長に報告しました。MOAインターナショナル栗山は、昭和54年から公共施設での花の活け込みや、学校などで茶道の体験活動を実施。日本文化の普及促進に尽力していることが評価されました。



手作りの花炭を飾り付け 栗山キッズクラブ

第9回青少年体験学校「栗山キッズクラブ」が3月14日、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスで行われ「花炭づくり」を体験しました。子どもたちは松ぼっくりなどを金属缶に入れて蒸し焼きにし、手作りのかごに飾り付けました。また、令和2年度の栗山キッズクラブは今回が最後のため、卒業する子どもたちに南條宏教育長から修了証書が手渡されました。



地域ぐるみで行う子育て支援 町民講座「家庭教育講演会」

町民講座「家庭教育講演会」が3月12日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、約40人が参加しました。栗山町子ども子育て会議アドバイザーの河野和枝さんが「子育て支援は人が育つ地域づくり」をテーマに講演。参加者は、現代の子育て世代を取り巻く環境や、子育て支援に必要なことなどを学びました。

